

平成 30 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①シチズンシップ教育と連携した新科目「公共」の研究を推進し、主体的に学ぶ意欲が向上する教育課程編成を実践する。 ②シチズンシップ教育を通し生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、社会に参加・貢献する能力と態度を育成する。	①教育課程研究開発校として、新科目「公共」の在り方を本校独自の視点で検討し、研究をまとめ発表する。 ②シチズンシップ教育を理念とし、新学習指導要領の基本的考え方に基づく授業改善と教育課程編成を進める。	①新科目「公共」の研究開発指定最終年度として、教科横断的な授業実践となるよう学校全体で取り組み、研究をまとめ、情報発信する。 ②アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業研究を進め、教授法や教材を工夫した授業を実践する。 ③本校のシチズンシップ教育の理念と新学習指導要領の基本的考え方に基づく教育課程編成を進める。	①新科目「公共」に係る研究をまとめ、適切に情報発信できたか。 ②アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業実践の各教科における取組実数。 ③生徒による授業評価の結果。 ④本校のシチズンシップ教育の理念と新学習指導要領に基づく教育課程編成が進んだか。
2	生徒指導・支援	①心身ともに健康で心穏やかに過ごせるように、不安や悩み、様々な課題を抱えた生徒が自ら課題解決できるよう支援する。 ②充実した高校生活を送るために、部活動や学校行事を活性化させる。	①生徒の状況や支援方法を全職員で共有し、組織的な支援体制を構築するとともに、生徒の健全な生活習慣の確立に寄与する講演会を効果的に実施する。 ②生徒の主体的活動の活性化を図り、安全に実施する。	①人権教育や生徒情報を共有する研修を開催し、職員の支援教育に係る意識を高める。 ①専門家との連携やコア会議の適時開催など、相談体制の充実を図る。 ①道徳教育や交通安全教育、食育など各種講演会を効果的に実施する。 ②部活動や学校行事を活性化させ、安全に実施する。	①職員研修開催回数。 ①SCやSSWの活用実績、外部機関との連携実績、コア会議等の開催回数。 ①生徒向け講演会により生徒の意識が向上したか。 ②部活動加入率が増加したか。 ③生徒の満足度は高いか。
3	進路指導・支援	①進路実現に向けた環境を整備し、生徒自らがキャリアプランに基づいた教育活動を実践する。 ②キャリア教育の充実により、学ぶ世界を拓き、社会とつながる力を培い、質の高い進路実現を図る。	①進路実現に向けて主体的に行動するよう環境を整備し支援する。 ②インターンシップやボランティア活動への参加を促進し、体験活動の成果を発表する機会を設ける。	①生徒や保護者向けの進路便りの定期的な発行や、家庭学習の充実と計画的な取組を促進するツールを提供する。 ①長期休業中や平日、土曜の講習を充実させる。 ①外部機関等の講師による研修や出願指導等の3年担任研修を実施する。 ②インターンシップやボランティア活動の体験発表の場を増やし、他の生徒に広く周知する。	①家庭学習の平日平均時間が増えたか。 ①講習開催回数や参加者数が増えたか。 ①適切な進路相談により、生徒の進路実現が達成されたか。 ②体験発表の場を増やせたか。

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	○地域に開かれた学校としての取組をさらに進め、地域との協働により、学校・地域共によりよい環境を整える。	○地域貢献デーや近隣団体等との世代間交流によって生徒の自発的な活動を促し、公共心を養う。 ○コミュニティ・スクールの導入に向けて、事前準備を進める。	・春と秋の地域貢献デーや近隣団体等との世代間交流を活性化させる。 ・生徒の地域行事のボランティア参加や地域連携を促進させるコミュニティ・スクールの体制を検討する。	・地域貢献デーにより、生徒の「気付き」を引き出すことができたか。 ・地域交流の回数が増え、協働が推進されたか。 ・地域連携を促進するコミュニティ・スクールを検討できたか。
5	学校管理 学校運営	①保護者や周辺地域による、本校の教育活動に対する理解を深化させる。 ②保護者の教育ニーズを的確に把握し、協働と信頼に根ざした学校づくりを推進する。	①学校の情報を適切に発信し、本校の教育活動に対する理解が深化するようにする。 ②全職員で事故防止に取り組み、信頼される学校づくりを推進する。	①学校案内の刷新やホームページの内容を適時適切に更新し、わかりやすい広報活動を行う。 ②職員の教育公務員としての意識を高める事故不祥事防止会議を計画的に開催し、事故・不祥事を未然に防止する。 ②成績処理、会計処理、個人情報の管理等について、効果的な職員研修等を実施する。	①ホームページの内容更新が適切に行われたか。 ①ホームページ閲覧数は、7万件以上を達成したか。 ②事故不祥事防止会議や職員研修等の開催は効果的だったか。 ②成績処理や会計処理、個人情報の管理等は適切だったか。